

東京教区 『パワーシフト・キャンペーン』 スケジュール案

【目的】 宣教の5指標の一つ、「被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること」という教会の使命を果たすこと。また、①すべての被造物のいのちを大切にしよう世界へ ②二酸化炭素削減 ③2020年10月日本聖公会第65（定期）総会で決議された「『原発のない世界を求める国際協議会』の声明に賛同する」という3つの観点から、東京教区事務所と教会・礼拝堂の電力を再生可能エネルギーにパワーシフトを促進すること。

【スケジュール：2021年】

	各教会・礼拝堂	教区事務所
4月中	5月30日の講演会に出席する信徒の選出 決定次第、宣教主事または主事補に報告	教区事務所もパワーシフトのため 新電力会社検討開始
5月30日 (日) 15:00～	第一回講演会 講師：FoE吉田明子さま	
	内容：『なぜパワーシフトをしないといけないのか』	
	再生可能エネルギーとは？自然エネルギーとは？	
	(違いやメリット、デメリット)	
	どんな電力会社があるか？（電力会社情報）	
	電力会社を選択する時のポイント	
6～9月	各教会にて講演会の報告。 パワーシフトを実際に検討 （この期間にパワーシフトすることもあり）。質問や疑問について、教区事務所に報告・相談	寄せられた質問や相談への返答を、教区事務所のパワーシフト進捗状況の報告含めて、ニュースレターのようなものを発行
10月中	第2回勉強会（FoEさん講師）	
12月末	可能な限りの教会・礼拝堂がパワーシフトを完了する（教区事務所も完了）	

【その他（方法など）】

- ・ 教区事務所も並行してパワーシフトに取り組み、過程を教区内に共有する。
- ・ 必ず各教会委員会でパワーシフトについて協議してもらう。
- ・ エネルギー転換について興味をもち、積極的にパワーシフトに取り組んでいただく。
- ・ 質疑応答を教区内で共有する。
- ・ パワーシフトについてニュースレターのようなものを発行する。
- ・ 東京聖テモテ教会、東京聖十字教会が既に新電力会社に変更しているので、先行ケースとして紹介する。
- ・ 5月、7月、9月の各教会グループ協議会でも話題にしてもらう。
- ・ 電力会社に協力依頼し、具体的なパワーシフトモデルを提供していただく。
- ・ 教区内の学校・施設などにも呼びかける